

スモール連動間接照明制御ユニット

- ALSYNC -

アルファード(2002.5 ~ 2008.5)

新型アルファード / ヴェルファイア

(2008.5 ~)

取り付け解説書

The logo for Galleyra, featuring the word "Galleyra" in a stylized, orange-red font. The letter "l" is uniquely designed with a vertical line through it, and the "y" has a small dot above it.

安全に正しくお使いいただくために

取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

本製品はDC12V車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などのDC24V車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。車両に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう]、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。

本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。

正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。

ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。

接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。

エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。

車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

はじめに	4
梱包内容	4
取り付けできる車両	4
各配線の説明	4
新型アルファード / ヴェルファイア (2008.5 ~) への取り付け方法	5
ユニットの動作概要	6
配線方法	6
各配線の接続先	6
動作確認	7
コネクタ図	8
アルファード (2002.5 ~ 2008.5) への取り付け方法	9
ユニットの動作概要	10
配線方法	10
各配線の接続先	10
動作確認	12
コネクタ図	13
トラブルシューティング	14
全く動作しない	14
スモールを消灯しても間接照明が消灯しない	14
間接照明スイッチが作動しなくなった	14
右側の間接照明が点灯しなくなった	14
AC100Vスイッチが作動しなくなった	14
取り付け後にパワーウィンドウが動作しない	14

はじめに

このたびは当製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全て全機能をテスト後に出荷させて頂いておりますが、万が一不良品でありました場合速やかに代替品と交換させていただきますので、早急にご連絡頂きます様お願いします。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴いたしますのでご了承願います。なお、初期不良交換は商品到着後 1 ヶ月、保証期間は商品到着後 1 年とさせていただきます。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

梱包内容

- 1 . ALSYNC (アルシンク) ユニット 1 台
- 2 . 取り付け解説書(本解説書) 1 部

取り付けできる車両

- ・アルファード (2002.5 ~ 2008.5)
- ・新型アルファード / ヴェルファイア (2008.5 ~)

各配線の説明

製品からは 5 本の配線が出ています。使用している電線は AWG22 (約 0.33SQ 相当) です。配線の接続にはワンタッチコネクタが便利です。

ワンタッチコネクタは適合電線をよくご確認の上ご使用ください。

黒	(-) GND (車両アース)
赤	(+) +12V IG 電源
桃	(+) +12V イルミ電源入力
水	(-) 間接照明スイッチ出力
緑	(-) 間接照明信号入力
水	(ループ線) 消灯制御線

新型アルファード / ヴェルファイア
(2008.5 ~)への取り付け方法

ユニットの動作概要

この製品は、スモールライトに連動して室内の間接照明を自動的にON-OFFするユニットです。制御はエンジン始動時のみ行われます。間接照明とスモールライトの状態を監視してスモールライト(ヘッドライトONも含む)の点灯状態と異なっていれば間接照明スイッチ出力から0.5秒のパルスを出力します。また、点灯制御は即行われますが消灯制御は30秒の延滞があります。

このユニットを取り付けるとスモールライト(ヘッドライト)点灯時に間接照明を消灯させても再度点灯するようになります。ユニットの動作をキャンセルしたい場合はユニットの赤線にON-OFFスイッチ(別途カー用品店等でご購入下さい)を取り付けてください。

配線方法

殆どの配線は運転席右側にあるスイッチパネル裏で行います。G31コネクタは間接照明スイッチに差し込まれている8極のコネクタです。コネクタ図については、8ページに記載がございますので、参照してください。

各配線の接続先

赤 (+) +12V IG 電源

間接照明スイッチ G31 コネクタ 7 番 緑へ接続してください。

黒 (-) GND (車両アース)

間接照明スイッチ G31 コネクタ 3 番 茶へ接続してください。

桃 (+) +12V イルミ電源入力

間接照明スイッチ G31 コネクタ 6 番 緑へ接続してください。

桃線を IG 電源 (赤線と同じライン) に接続すればエンジン始動している間は間接照明を強制的に点灯させることができます。

水 (-) 間接照明スイッチ出力

間接照明スイッチ G31 コネクタ 2 番 水色へ接続してください。

! 間接照明スイッチコネクタの6番と7番は共に線色が「緑」ですので、 !
! 間違いの無いように接続を行ってください。 !

各配線の接続先（つづき）

緑 (-) 間接照明信号入力

緑線は間接照明LEDのラインに接続します。

助手席足元左にある「サイドトリムパネル」を取り外すとコネクタが幾つか露出します。右側の一番下にあるG57コネクタ（22極、黒色）9番赤に接続してください。

水色ループ線 消灯制御線

水色のループ線をカットすると、消灯制御をキャンセルできます。点灯のみ利用したい方はカットしてください。

全ての配線が完了すればユニット本体をビニールテープかタイラップ等で適当な場所に固定します。

ユニット内部が損傷する恐れがありますので、ユニットをタイラップ等で固定する際は力を掛けすぎないでください。

注意：最後に必ず配線が間違いなく・確実に接続されていることを確認してください。

動作確認

取り付けが完了したら、間接照明スイッチが問題なく作動することを確認してください。問題なければエンジンを始動し、スモールライトをON-OFFして間接照明がスモールライトに連動することを確認してください。

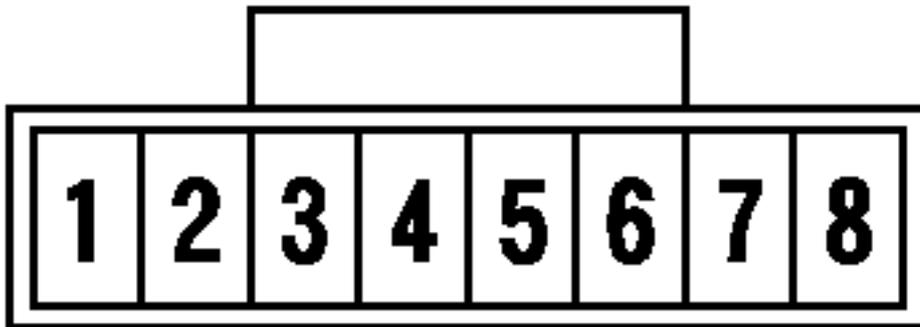
点灯制御はスモール点灯後、最大1秒延滞します。

消灯制御はスモール消灯後、30秒経過してから行われます。

コネクタ図

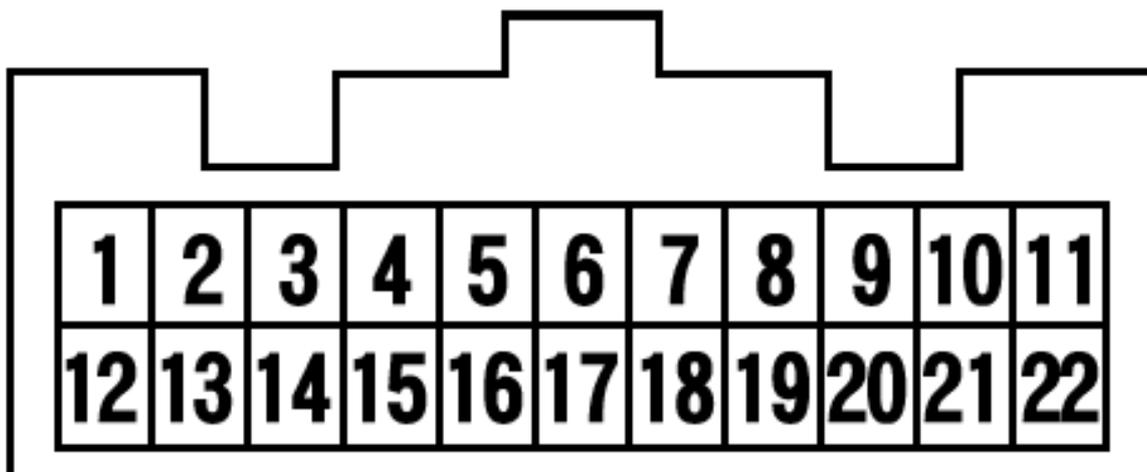
間接照明スイッチコネクタ

G 3 1 コネクタ (8 極)



助手席足元サイドパネル内

G 5 7 コネクタ (黒色、 2 2 極)



コネクタ図は、配線側からではなく差込側から見た図となっています。

アルファード(2002.5 ~ 2008.5)
への取り付け方法

ユニットの動作概要

この製品は、スモールライトに連動して室内の間接照明を自動的にON-OFFするユニットです。制御はエンジン始動時のみ行われます。間接照明とスモールライトの状態を監視してスモールライト(ヘッドライトONも含む)の点灯状態と異なっていれば間接照明スイッチ出力から0.5秒のパルスを出力します。また、点灯制御は即行われますが消灯制御は30秒の延滞があります。

このユニットを取り付けるとスモールライト(ヘッドライト)点灯時に間接照明を消灯させても再度点灯するようになります。ユニットの動作をキャンセルしたい場合はユニットの赤線にON-OFFスイッチ(別途カー用品店等でご購入下さい)を取り付けてください。

配線方法

殆どの配線は運転席右側にあるスイッチパネル裏で行いますので、まずはスイッチパネルを取り外してください。ネジはありませんので、(少々やり辛いです)スイッチパネル下にある物入れから手を上部へ入れてスイッチパネル裏側からパネル全体を押せば取り外すことができます。

スイッチパネル部にETCを取り付けている場合はねじ止めされていますので、ねじを先に外しておいて下さい。

各配線の接続先

下記3本の配線は100VコンセントスイッチのI64コネクタへ接続します。100Vコンセントが装備されていない場合でもI64コネクタのみブランクスイッチ(蓋)の裏側に差し込まれていますので、そのコネクタに接続します。

黒 (-) GND (車両アース)

~ 2005.4 I64コネクタ2番 白/黒へ接続してください。

2005.4 ~ I64コネクタ2番 茶へ接続してください。

赤 (+) +12V IG電源

I64コネクタ3番 白/緑へ接続してください。

桃 (+) +12V イルミ電源入力

~ 2005.4 I64コネクタ1番 緑へ接続してください。

2005.4 ~ I64コネクタ1番 緑/黄へ接続してください。

桃線をIG電源(赤線と同じライン)に接続すればエンジン始動時は間接照明を強制的に点灯させることができます。

各配線の接続先（つづき）

水 (-) 間接照明スイッチ出力

水線は間接照明スイッチのコネクタに接続します。2005.4～の現行型アルファードでは間接照明スイッチがセンターパネルにあるハザードスイッチ部へ移動していますので配線を引き回して接続してください。

～ 2005.4 166コネクタ3番 赤/黄へ接続してください。

2005.4～ 137コネクタ4番 赤/黄へ接続してください。

緑 (-) 間接照明信号入力

緑線は間接照明LEDのラインに接続します。運転席足元ステップ下にある配線束の中にある赤/白線に接続してください（細い線です。白/赤と間違わないで下さい。）赤/白線が複数ある場合はテスターで確認してから接続してください。テスターをDC電圧レンジにして赤プローブをテストする赤/白線、黒プローブをボディアースにあてて間接照明が点灯しているときと消灯しているときで電圧が変化すればOKです。

水色ループ線 消灯制御線

水色のループ線をカットすると、消灯制御をキャンセルできます。点灯のみ利用したい方はカットしてください。

注意！ボデーコンピューター破損の原因となりますので、測定にテスター以外の物（検電ドライバー等）は使用しないでください。テスターのレンジは必ず電圧レンジに切り替えてから測定してください。また、赤/白線をショートするとボデーコンピューターが破損する場合がありますので十分注意して作業してください。

全ての配線が完了すればユニット本体をビニールテープかタイラップ等で適当な場所に固定します。

ユニット内部が損傷する恐れがありますので、ユニットをタイラップ等で固定する際は力を掛けすぎないでください。

注意：最後に必ず配線が間違いなく・確実に接続されていることを確認してください。

動作確認

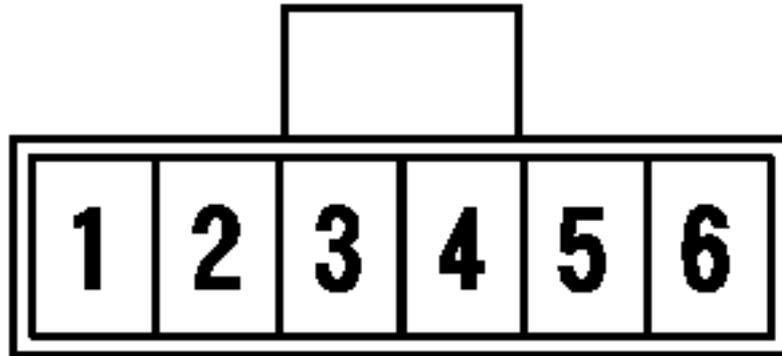
取り付けが完了したら、間接照明スイッチが問題なく作動することを確認してください。問題なければエンジンを始動し、スモールライトをON-OFFして間接照明がスモールライトに連動することを確認してください。

点灯制御はスモール点灯後、最大1秒延滞します。

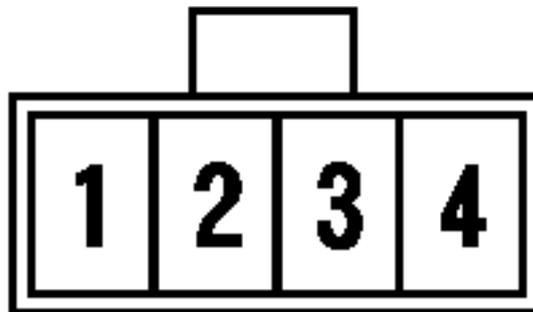
消灯制御はスモール消灯後、30秒経過してから行われます。

コネクタ図

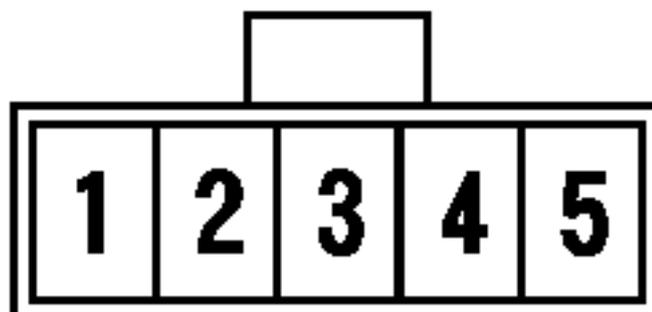
i64 コネクタ



i66 コネクタ



i37 コネクタ



トラブルシューティング

全く動作しない

全ての配線の接続を確認してください。

スモールを消灯しても間接照明が消灯しない

消灯制御はスモール消灯後、30秒経過してから行われます。但し、消灯制御までの間に間接照明が消灯すると消灯制御はキャンセルされます。

間接照明スイッチが作動しなくなった

間接照明スイッチコネクタに水色線以外の配線を接続していないか確認してください。また、間接照明スイッチのコネクタを外して作業された方は確実にコネクタが差し込まれているか確認してください。

右側の間接照明が点灯しなくなった

間接照明LEDラインに緑線の以外の配線を接続していないか確認してください。車両の赤/白線の測定時にショートがあった場合はボデーコンピューターが破損している可能性があります。

AC100V スイッチが作動しなくなった

AC100Vスイッチコネクタに指定色以外の配線を接続していないか確認してください。また、AC100Vスイッチのコネクタを外して作業された方は確実にコネクタが差し込まれているか確認してください。

取り付け後に助手席側/後部座席のパワーウィンドウが動作しない

バッテリーのマイナス端子を外して作業した方は全てのパワーウィンドウの設定を行ってください。設定方法はアルファードの取扱説明書をご覧ください。

